

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月24日更新

事務事業名		環境美化活動事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	総務部	課長名	北里 利朗
	施策	9 住環境の充実				所属課	環境衛生課	担当者名	橋本 育将
	施策の柱	23 環境衛生の充実				所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計一般	款4	項1	目7	事業連番10116	根拠法令	合志市美しいまちづくり条例 成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	くまもとみんなの川と海づくりデーに伴い平成5年度より開始した。各区及び職員等による環境美化活動の推進を行う。平成19年度より燃やすごみの減量化の取り組みとして、地域の美化活動等で発生した枝草類を星山商店に搬入している。また、21年度から合志バイオXへの搬入も開始したが、平成25年度にバイオXから受け入れできないと連絡があったため搬入を中止した。各区における清掃活動の受付について、平成21年度より環境衛生課が窓口となった。地域の美化活動等で発生した枝草など星山商店に搬入した処理費を、環境衛生課で支払っている。
【業務の流れ】	各区の清掃活動実施日の把握・実施後の処理、職員等による清掃活動の計画・実施、枝草類の収集運搬
【主な予算費目】	需用費、役務費、委託料
【意見や要望】	各地区の自治会清掃活動で集められた燃えるごみや資源・埋め立てごみについても市で収集・運搬してもらえないかという要望がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO) 各地区のボランティア作業による公園・道路の清掃活動、及びPTAによる愛校作業で出た枝草等の分別処理料を支払った。また、上生川、塩浸川の河川清掃作業をボランティアを募り行った。		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 各地区による清掃活動による枝・草等の処分費の支払い、ボランティアや職員等による河川清掃などを行う(上生川・塩浸川)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 清掃活動を行った行政区	地区	清掃活動等による処分量見込みの増による委託料の増
イ: 河川清掃に参加した職員等	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
河川、公園等		→ ア: 公園の数
		イ: 河川の数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
河川、公園等の草・枝等を適切に処分する		→ ア: 処理委託した量
		イ:
* ③ 成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
燃やすごみの減量化の取り組みとして、地域の美化活動等で発生した枝草類を委託事業所へ搬入しているため、成果指標を「処理委託した量」とし、目標値は各区の清掃活動等による枝草類の処理については毎年発生するので例年の目標と同じ「110,000kg」と設定した。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移												
			単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア	地区		80	84	84	84	84	84	84	84	
	イ	人		337	340	300	309	300	300	300	300	
② 対象指標	ア	箇所		172	174	174	179	174	174	174	174	
	イ	本		2	2	2	2	2	2	2	2	
③ 成果指標	ア	kg		87,610	112,760	110,000	0	120,000	120,000	120,000	120,000	
	イ											
投資 入費 量	事業 費 内 訳	財源	国庫支出金	千円								
			都道府県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			繰入金	千円								
			一般財源	千円	1,306	1,346	1,386	1,705	1,430	1,387	1,387	1,387
	(A) 事業費計		千円	1,306	1,346	1,386	1,705	1,430	1,387	1,387	1,387	
			(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
			(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正	正規職員従事人数	人	7	6	7	0	7	7	7	7
		延	べ業務時間	時間	275	250	450	0	450	450	450	450
		(B) 人件費計	千円	1,095	996	1,792	0	1,792	1,792	1,792	1,792	1,792
	トータルコスト(A)+(B)			千円	2,401	2,342	3,178	1,705	3,222	3,179	3,179	3,179

事務事業名	環境美化活動事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 各区清掃活動等の受付時において周知を図ることで、目標達成の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 毎年、枝草類の処理を行う必要がある。枝草類の処理については、再利用可能な分を星山商店に搬入する。美化意識の向上を図ることにより、更なる成果は期待できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 関係課で対応していた各区による清掃活動の受付については、平成21年度より環境衛生課が窓口となった。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 枝草類の処理については、再利用可能な分を合志バイオXに搬入することができなくなったため削減することができない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 各区の清掃活動の受付については環境衛生課が窓口となったことから業務時間は微増したが、枝草類の処理については、関係課と連携を図ることで削減可能。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公共用地のみを対象としているので公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 各区による清掃活動の実施、その受付関係を市が行っており役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

河川清掃については参加者が増加傾向にあるため、引き続き職員をはじめ企業や市民の参加を募る。自治会清掃については、昨年は雨量も多かったためか、例年と比べ枝草が多めに排出されたため、処理量も増えた。また、公園以外のボランティア活動で排出されたごみについて、現在は区において分別してごみ出しの日に出してもらっているが、このようなごみも枝草とまとめて市で処分してもらいたいとの要望がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止

☐休止

☐目的再設定

☐事業統廃合・連携

☐事業のやり方改善（有効性改善）

☐事業のやり方改善（効率性改善）

☐事業のやり方改善（公平性改善）

☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策